

# 平成24年度 宇多津町社会福祉協議会事業報告

## 1. 概況

地方分権改革、補助金制度改革など社会福祉協議会を取り巻く環境は依然として大きく変化している。加えて県・町等の地方財政状況は大変厳しく、町社協においても事業の見直しや再構築が急務となっております。

このような中、社会福祉協議会では、町からの委託事業として「地域福祉推進事業」や「地域支え合い事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」に取り組み、各種福祉施策の拡充を図ると共に、介護保険事業、障害者自立支援事業の充実を行い、地域住民の理解と協力を得て、明るい地域福祉を推進し「地域の誰もがその人らしく安心して、安定した生活ができる」福祉社会の実現を目指し、次の7項目の事業を重点に実施した。

- (1) 地域福祉の推進
- (2) 介護保険事業の充実
- (3) 障害者自立支援事業の充実
- (4) ボランティア活動の推進
- (5) 福祉関係団体等活動協力と連携
- (6) 法人運営の強化
- (7) その他福祉活動への協力

## 2. 事業経過報告

### (1) 地域福祉の推進

#### ① ふれあいいきいきサロンの推進

町内の高齢者や障害者等、地域の中で孤立して閉じこもりぎみに暮らしている人たちが、いきいきと元気に暮らせることを目的としてサロン活動を行った団体に共同募金の配分を利用して補助を実施した。

年度毎の箇所数は次のとおりであり、実施箇所数は2年程横ばいである。

年 度	箇所数
平成20年度	17
平成21年度	18
平成22年度	19
平成23年度	20
平成24年度	20

また、年4回のプログラムメニュー研修会を実施し、各サロンがより魅力的な運営ができるよう役立てた。


平成24年5月29日(火) 研修会(笑いヨガ!～みんなで笑って元気に～) 46人

平成24年9月10日(月) 研修会(災害に備えて～防災頭巾づくりにチャレンジしよう!) 38人

平成24年11月15日(木) 研修会(香川県防災センター見学・体験) 33人

平成25年3月12日(火) 研修会(サロンを楽しく、みんな一緒に!) 39人

## ② 共生型サロンの推進

前年度に引き続き、毎月第1・第3水曜日、地域で暮らす高齢の方も、子育て中の親子も、障がいのある方も、誰でもが自由に集い交流するみんなのサロン「ともとも」を開設した。

サロンでは、わらべうたで遊ぼう、親子で一緒にバランス体操、抹茶たて体験や季節行事(流しソーメンと盆踊り、もちつき大会、さぬき雑煮づくり)等を行い、サロン活動を通して、町内で声をかけ合える関係が深まっている。

### 【みんなのサロン 参加人数】 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
親	21	11	22	31	26	34	24	14	19	12	14	12
子ども	40	22	30	41	41	42	35	20	28	18	22	19
高齢者	31	22	28	33	26	26	34	32	37	20	34	27
V0・スタッフ	12	11	15	18	54	12	41	16	23	12	11	12
合計	104	66	95	123	147	114	134	82	107	62	81	70

※1月は、正月休みがあり、月1回のサロン開催

## ③ 地域支え合い推進

地域での支え合いを推進するため、ひとり暮らしの高齢者(65歳以上)や高齢者のみの世帯に救急対策として、「救急医療情報キット」を配布した。配布した世帯は約1,050世帯である。配布については、民生委員児童委員の協力を得て実施した。

## ④ 各種相談事業の実施

民生児童委員会、弁護士及び身体障害者相談員の協力を得ながら次の6種類の相談事業を実施した。

相談の種類	相談員	相談日	相談実績
一般相談	民生児童委員	毎週火曜日	5件
弁護士相談	徳田弁護士	2カ月に1回	20件
身体障害者相談	県身体障害者相談員	第3金曜日	5件
介護相談	訪問介護員（ヘルパー）	月曜日～金曜日	66件
ボランティア相談	ボランティアコーディネーター	月曜日～金曜日	25件
電話相談	社協事務局	月曜日～金曜日	95件

相談件数は、昨年に比べて251件から216件へと減少となる。原因としては弁護士相談の件数が減少したため。

#### ⑤ 生活福祉資金の効果的運用

県社協の委託事業として、生活福祉資金の貸し付け事業を実施した。

新規借入件数は、10件から26件へ増加しており、特に生活保護を申請し、受給できるまでの間を支援する等の緊急小口資金が5件から25件と大幅に増加している。資金ごとの貸し出し状況は次のとおりである。

#### 〈生活福祉資金貸付事業〉

借入資金の種類	年度末件数	24年度中 新規借入件数	23年度中 新規借入件数
総合支援資金	21件	0件	4件
緊急小口資金	16件	25件	5件
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件
教育支援資金	2件	0件	0件
福祉資金	21件	1件	1件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
旧資金	0件	0件	0件
計	60件	26件	10件

#### ⑥ 日常生活自立支援事業の実施

県社協の委託事業として、高齢者や知的・精神障害者で判断能力に不安がある人を対象に金銭管理・福祉サービスの手伝いを行う日常生活自立支援事業を実施した。年度ごとの利用者状況は次のとおりである。

年度	高齢者	知的障害	精神障害	その他	計
平成21年度	3	1	3	0	7

平成 22 年度	6	1	5	0	1 2
平成 23 年度	6	1	8	0	1 5
平成 24 年度	9	1	1 1	0	2 1

利用者は、昨年と比べ高齢者及び精神障害が増加している。  
本町では、高齢者の認知症や身内からの金銭詐取があるなど、複合的な問題を抱えるケースも多く、関係機関との連携が重要になってきている。

#### ⑦ 高齢者福祉サービス事業の充実

在宅の高齢者及び障害者の日常生活や自立に向けた取り組みを支援するために次の事業を実施した。

区 分	老人給食サービス事業	車椅子貸出事業	公衆浴場サービス	うたんぐら
平成 20 年度	4,647 食 (129 名)	3 6 名	6 9 6 名	一名
平成 21 年度	4,904 食 (130 名)	3 8 名	5 0 9 名	一名
平成 22 年度	5,067 食 (120 名)	4 2 名	1 0 1 名	5 名
平成 23 年度	4,936 食 (120 名)	3 1 名	一名	4 名
平成 24 年度	4,870 食 (120 名)	2 9 名		3 名
備 考	毎週水曜日配食 (月 4 回)			毎週 3 回 月・水・金

#### 〈高齢者見舞金事業対象者〉

区 分	一人暮らし老人 (80 歳 以上)	寝たきり者
平成 20 年度	1 0 9 名	一名
平成 21 年度	1 2 2 名	一名
平成 22 年度	1 3 4 名	一名
平成 23 年度	1 4 2 名	一名
平成 24 年度	1 4 4 名	一名

老人給食サービスについては、配食していただくボランティアの募集など、当日の配食に支障のないように努めた。車椅子の貸し出しについては、長期の貸し出しから、本来の利用目的である、短期の利用にシフトしている。

また、共同募金の配分金により、高齢者見舞金配布事業を実施し、80 歳以上の一人暮らし高齢者に対し、3 千円を民生児童委員の協力により配布した。

⑧ ファミリー・サポート・センター事業

地域の方が会員となって、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア組織。

・平成 24 年度登録会員数、活動件数、援助活動内容と件数の内訳

登録会員数 (平成 24 年 4 月～ 平成 25 年 3 月末)	おねがい会員	98 名	合 計 <u>191 名</u>
	まかせて会員	71 名	
	どっちも会員	22 名	
活動実績 (平成 24 年 4 月～ 平成 25 年 3 月末)	援助活動件数の内訳		活動件数
	① 保育施設への送り迎え		83 件
	② 保護者の外出の場合の援助		4 件
	③ 保育施設の保育終了後の預かり		76 件
	④ 他の子ども学校行事の場合の援助		8 件
	⑤ その他（保護者通院等）		9 件
	合 計		180 件

・平成 24 年度研修会、交流会回数と内容

	回 数	参加人数	内 容
研修会	2 回	48 名	子どもの発達と関わり方、小児看護の基礎知識、子どもの安全、子どもの発達等、
交流会	8 回	453 名	わらべ歌で遊ぼう、親子でクッキング
講演会	2 回	111 名	子どもの発達と、気になる子どもとの係わり方

今年度末で190名ほどの方が会員登録をし、宇多津でも新都市の方の子育て支援ニーズが急増している。今後も引き続き、預かり時の事故防止等の講習会を充実させて行く予定である。

(2) 介護保険事業(ホームヘルパー)の充実

① 訪問介護事業の充実

今年度は4.9%の増となっているが、延べ人数は減少した。

介護保険制度に適應しない部分を補うための軽度生活援助事業については、減額となっている。今後も、一層のサービスの向上と利用者の確保を図り、更なる収支の改善を図っていきたい。

(単位：千円・人数)

年 度	訪問介護事業収入	前年比	延べ人数	軽度生活支援事業収入
平成 20 年度	8,152	▲9.7%	229	642
平成 21 年度	10,164	24.7%	276	507
平成 22 年度	10,991	8.1%	358	1,122
平成 23 年度	11,571	5.3%	402	949
平成 24 年度	12,134	4.9%	360	923

## ② 居宅介護支援事業の充実

居宅介護支援事業(ケアマネージャー)の利用者及び事業収入の推移は次のとおりである。延人数は、18.3%の増加であり、収入としても前年度の24.0%の増となっている。原因としては、介護予防の比率が下がったものである。今後もサービスの向上に努め、収支の改善を図っていく。

(単位：千円・人数)

年 度	事業収入	前年比	対象者数(延人)
平成 20 年度	4,752	▲3.7%	492
平成 21 年度	5,039	6.0%	530
平成 22 年度	4,471	▲12.7%	578
平成 23 年度	4,818	7.8%	585
平成 24 年度	5,973	24.0%	692

## (3) 障害者自立支援事業の充実

### ① 障害者福祉サービスの充実

障害者自立支援法の完全実施に伴い、在宅の障害者に対するサービスが拡充されたことや住民に周知されると共にサービスの利用も増加傾向にある。特に、難病患者等の利用が多くなっている。各年度のサービスごとの収入の推移は次のとおりである。

(単位：千円)

年 度	居宅介護	移動支援	同行援護	難病患者等	計
平成 20 年度	949	80	0	0	1,033
平成 21 年度	1,694	562	0	0	2,256
平成 22 年度	1,942	393	0	0	2,335
平成 23 年度	2,478	209	0	18	2,705

平成 24 年度	2,403	525	0	207	3,135
----------	-------	-----	---	-----	-------

#### (4) ボランティア活動の推進

##### ① ボランティア連絡協議会への参加及び協力

事務局として、毎月の定例会、総会及び講演会等に参加しボランティア活動を推進した。

平成 24 年 5 月 27 日(日) 東日本大震災復興支援ボランティア体験発表会  
100人

平成 25 年 2 月 10 日(日) 防災研修会(今、津波が発生したらどの道を通ってどこへ逃げますか?) 80人

加入団体は、25団体となっている。

##### ② 福祉・ボランティア体験の推進

福祉・ボランティア体験としてうたづっこふくしセミナーの開催、ボランティア体験の実施、福祉体験学習、ボランティア銀行の運営を次のとおり実施した。

#### □ うたづっこふくしセミナー

	日 時	場 所	講 演 内 容	参 加 人 数
第 8 回	7 / 28	保健センター	中学生位までの児童・生徒を対象とした福祉体験セミナー	約 300 名

#### □ 夏休み中学生ボランティア体験学習

17の行事が延べ39日間行われ、約524人がボランティアとして参加した。昨年と比べ行事数は増えたものの参加人数は163人の減となっている。町や社協事業以外にも各種団体のボランティアにも参加している。今後も学校と連携を取りながらボランティア活動を推進していく。

	日 時	場 所	学 習 内 容	参加人数
1	7 / 15 他 2 回	JR 駅前清掃	駅前清掃ボランティア体験	289名
2	7 / 25 他 4 回	福祉センター	老人給食配達ボランティア体験	16名
3	7 / 27	県道 33 号線	さわやかロード県道 33 号線清掃	12名

4	7 / 2 6	サポートセンター	はぐはぐランド宇多津での乳幼児との交流体験	21名
5	7 / 2 6	NPO メロディー	障がい児との宿題教室	2名
6	7 / 2 3 他 4 回	北小美術室	高齢者のために絵手紙づくり	17名
7	7 / 2 4 他 1 回	ユープラザ他	夏休み宿題お助け隊	14名
8	7 / 2 3 他 5 回	宇夫階神社他	うたづ寺子屋ボランティア	31名
9	7 / 2 8	保健センター	うたづっこふくしセミナー	32名
10	8 / 1 9	社会福祉協議会	日曜サロンの手伝い	4名
11	8 / 2 4	保健センター	親子クッキングの手伝い	2名
12	8 / 3 0	ユープラザ	ピッコロショー腹話術の手伝い	8名
13	8 / 8	NPO あいあい	夏祭り手伝い高齢者との交流体験	3名
14	8 / 1 7	ドリームパラダイス	こどもとのうどん作り体験	7名
15	7 / 23~ 8 / 30	中学校	校内プランタンの水やり	24名
16	8 / 2 7	中学校新体育館前	新体育館周辺の草抜き	24名
17	8 / 1 他 2 回	やすらぎプラザ	みんなのサロンともとも 高齢者、乳幼児と交流	18名

延べ：39日

延べ：524名

□ ボランティア銀行の運営

ボランティア銀行の預金額は、昨年の 595,330 ハートから 633,764 ハートへ増加しており、小・中学生のボランティア活動の輪が広がってきている。今年度は、預金額の内 300,000 円の払い戻しを行います。



学校名	預金額(ハート)	払い戻し額(円)
宇多津小学校	105,908	50,000
宇多津北小学校	392,856	186,000
宇多津中学校	135,000	64,000
合計	633,764	300,000

残額については、翌年度以降の積立としている。

### ③ 災害ボランティアセンターの推進

東日本大震災復興支援ボランティア体験発表会と防災研修会を開催した。  
詳細は次のとおりである。

	日 時	場 所	講 演 内 容	参加人数
第1回	5 / 27	保健センター	「東日本大震災復興支援 ボランティア体験発表会」 1. 避難所支援 2. 災害ボランティアセンター支援 3. 被災地復興支援 4. 仮設住宅支援	100名
第2回	2 / 10	保健センター	防災研修会 「今、津波が発生したらどの道を通っ てどこへ逃げますか？」 内容 図上防災研修・心肺蘇生法訓練	80名

## (5) 福祉団体等活動協力と連携

### ① 民生児童委員協議会との連携

社会福祉協議会の運営において、民生児童委員との連携・協働は重要であり、相談事業をはじめとして、高齢者・一人暮らし老人の情報の共有、救急医療情報キットの配布、老人給食サービスの配食、高齢者見舞金配布事業、共同募金活動、生活援護資金貸付業務等において協力を得て事業を実施した。事業ごとの実績については、他の項目で記載した。

### ② 老人クラブ・身体障害者協会への参加協力

老人クラブ・身体障害者協会の事務局として、総会・定例会、各種行事への協力及び文書管理を行った。

### ③福祉団体への援助

ボランティア連絡協議会加盟の団体へ各種補助金の情報提供等行った。

## (6) 法人運営の強化

### ① 自主財源の確保

社協会員の増加と香典返し等寄付金の使途の明確化を行う中で自主財源の確保に努めた。年度ごとの状況は次のとおりである。

(会員数の推移)

年 度	社協役員	団体会員	個人会員	合計	会 費 円
平成19年度	24名	314名	39名	377名	110,000
平成20年度	25名	442名	30名	497名	132,300
平成21年度	25名	489名	60名	549名	137,800
平成22年度	25名	552名	69名	646名	172,600
平成23年度	25名	630名	193名	848名	221,000
平成24年度	24名	709名	125名	858名	226,000

(寄付金の推移)

年 度	香典返し		一般寄付		合計金額
	件 数	金 額	件 数	金 額	
平成20年度	36	1,790,000	16	40,257,280	41,997,280
平成21年度	30	1,343,000	14	542,281	1,882,281
平成22年度	24	1,145,000	10	146,261	1,291,261
平成23年度	20	720,000	11	135,316	855,316
平成24年度	22	928,000	9	111,000	1,039,000

会員数は、団体会員を中心に増加しているが、他市町社協と比較して、会員数、会費収入とも少なく、今後も社協運営の体質強化を図る上で中心的に取り組む必要がある。特に、自治会に対して会員募集をしていく必要がある。

寄付金については、昨年と比較すると増加しており、より一層、広報(社協通信)で使い道を明確にし、社協の事業への住民の理解を広める必要がある。

### ② 広報・啓発活動(情報誌 社協通信の発行)

社協事業を広く町民に周知する目的で情報誌「社協通信」を毎月発行し町広

報と同時に配布した。

③ 各種研修会等への参加

社協職員の資質向上を目指して県社協、県施設協会等の研修会に参加した。特に、日常生活自立支援事業では、精神障害者に対する専門知識も必要になってきており、専門員及び支援員の研修会に参加した。

今後も香川県社会福祉協議会等が開催する研修について、積極的に参加し、専門知識の取得を図っていく。

(7) その他福祉活動への協力

① 共同募金運動への協力

香川県共同募金会宇多津町支会に協力して、街頭募金運動・歳末たすけあいチャリティ即売会等の募金活動に参加し、目標金額3,600,000円に対し4,050,860円を集め、県共同募金会に送金した。本町への配分金は地域福祉推進事業として、2,944,800円であり以下の事業を実施した。災害見舞金は、今年度該当がなかった。

社会福祉協議会事業

番号	事業名	事業内容	配分額
1	ふれあいいきいきサロン事業	ふれあいいきいきサロン活動助成費用（1団体 年間1.2万円～2万円）	330,000円
2	ボランティア活動推進助成事業	ボランティア活動保険料 ボランティア連絡協議会活動費用	189,800円
3	一人暮らし高齢者見舞金 配布事業	80歳以上の1人暮らし高齢者のお見舞金費用	390,000円
4	心配ごと相談事業	弁護士相談費用	180,000円
5	花いっぱい町づくり事業	学校等にプランターと花の苗を配布し花いっぱいの町づくりの事業を実施	90,000円
6	ボランティア養成事業	ボランティア活動を行う人材を養成する講座の開催	70,000円
平成24年度共同募金配分合計			1,249,800円

各種団体への補助金

番号	事業名 / 配布先	事業内容	配分額
1	子育て支援推進事業 サポートママ「モコモコ」	核家族化が進む新都市を中心に、地域の人たちや母親同士の交流を深めるイベントを提供し、孤立しがちな母親への楽しい環境を提供する。	200,000 円
2	身障者外出支援事業 身体障害者協会	各種スポーツ大会、福祉大会の参加費用	40,000 円
3	母子家庭等支援事業 母子寡婦福祉会(ひまわり会)	子ども達のさびしい心を少しでも癒すために親子の喜びを共にする場をつくる。クリスマス会等開催費用、研修会参加費用	100,000 円
4	施設訪問事業 (ゆかいな仲間たち)	町内の福祉施設の訪問費用	30,000 円
5	障がい児支援事業 (NPO メロディ)	障がいを持つ困った感を抱える人や保護者や彼らを支えようとする周りの人たちに情報を提供する。講演会開催費用	150,000 円
6	障がい児・軽度発達障がい児支援事業 (親子クラブわくわく)	自閉症や発達障がいの特性や支援のコツを学ぶことで、子供たちがより自分の能力を発揮できるようにする。勉強会、講演会の開催費用	170,000 円
7	障がい児支援事業 (社会福祉法人ドリーム)	就労支援事業における作品づくりへの意欲を高めるため、ミシン、デジカメを購入し、今後の活動計画に役立てる。	68,000 円
8	地域環境整備事業 (たこの会)	誰でも自由な時間に公園の美化活動に取り組むことができるよう意識を高め、住みよい町づくりにつなげる。	76,000 円

9	ゴキブリ団子配布事業 (宇多津町婦人会)	町民にゴキブリ団子を配布することにより町内の衛生環境を整える。	110,000 円
10	地域ふれあいフェア事業 (北小校区会議)	学校、家庭、地域が連携し合っ て子ども達の健やかな健康を願 って地域ふれあいフェアを開 催し、学校や地域を愛する心を 培う。	100,000 円
11	子育て支援事業 (わかくさ北保育園)	在宅支援及び学童保育のための 備品購入費用	90,000 円
12	子育て支援事業 (あおやま保育園)	子ども達の利用できる楽器を購 入し、保護者に地域福祉活動に 関心を持ってもらう。	88,000 円
13	子育て支援事業 (青山幼稚園)	子ども達の利用できる楽器を購 入し、子ども達の情操教育に役 立てる。	77,000 円
14	障害者ふれあいサポート事業 (カノンの会)	精神に障害を持つ人の居場所 で、野菜作りを行うことで日中 活動の機会を増やす。外出支援 費用	50,000 円
15	子育て支援事業 (香川短期大学附属幼稚園)	絵本の読み語りによる心のつな がり親子で深めるため、絵本 の購入費用	96,000 円
16	災害時避難対策事業 (平山保育園)	災害発生時において住宅密集地 を通り抜ける時に園児の頭部を 落下物から守るためのヘルメッ トの購入費用	150,000 円
17	住みよいまちづくり事業 (ピースのおうち)	普段少ない近所の人たちと交流 を図り、子どもの見守り、防犯、 防災に役立てる。	100,000 円
平成24年度共同募金配分合計			1,695,000 円